
優しい復讐

とっち

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

優しい復讐

【Nコード】

N8976D

【作者名】

とっち

【あらすじ】

すれ違い。彼女、彼、少女、僕が出会った優しい復讐者。本当の優しさってなんだろうか。ある法則の中で見つけ出した真実。

(前書き)

皆さんに挑戦します。

僕の右隣には、彼女。

僕の左隣には、彼。

僕は、真ん中。

彼女は僕の初恋。

彼は、彼女の初恋。

彼女は、彼の初恋。

未だ初恋は変わらず続いている。

気持ちのすれ違いは、よくある。

すれ違いの相思相愛。

彼女は、僕と付き合っている。

だが、僕の気持ちは晴れない。

彼女の幸せが、僕の幸せ。それは、僕の自信の無さからきている。

彼女を振り向かせる自信が無い。

彼女を幸せにする自信が無い。

彼女の幸せなら僕は、迷わず悪役に徹しよう。

幸い僕にはその才能がある。

そう決意したある昼下がり。

季節は夏。

次の日、僕は拾い物をする。

かなり特殊な拾い物。

学校帰りだった。

10歳前後の女の子だ。

これは、もしかしたら必然だったのかもしれない。

この子は、悪魔だ。

僕の幸せを奪う悪魔だ。
そう直感が告げている。
だが体は動いてしまう。
女の子は、泣いていたから。
それはとても悲しそうだった。

大丈夫？

声をかけてしまった。

それが始まり。

終わりに向かう始まり。

悲劇なのかはわからない。でも確実に喜劇ではない。静かに向かって行く。

もしかしたら僕はこの時予想していたのかもしれない。

どうしようも無い悲しみの中で、僕は少女に手を差し伸べる。

それは、共有できる存在と思ってしまった。

僕を救ってくれる存在なのかもしれないと思ってしまった。

そんな涙。

一時でいいから僕を救って下さい。

それから僕達は、共に暮らすようになった。

幸い僕は一人暮らし。

冷たくて色の無い部屋は、少女が来てから温かくて、とても明るくなった。

部屋は僕の心を表していたのかもしれない。
救われた。

僕は救われた。

ただそれがもうすぐ終わると分かっている。
少女が来てからちょうど1ヶ月。

そんな事を思ってしまった。
ある雨の日だった。
季節は、秋。

空は赤かった。

それはとても残酷な色。

血の様な色だった。

僕にはそう見えた。

彼と彼女は、未だにすれ違い。

少女と出会い少し近づいたけどすれ違い。

彼、彼女、少女は仲が良い。

それはとても嬉しい事。

：のはず。

だけど僕は、言い様の無い感情に支配されている。
焦り。

それに似ている。

だが明らかに違うなにか。そんな感情を押し殺す。

この日々はいつまで続くのだろう。

そんな事を思ってしまった。

僕の気持ちは晴れない。

少女が来てから僕の気持ちは少し晴れた。

だが未だに僕の気持ちは赤色。

まるで空の様な色だった。ある晴れの日。

季節は秋。

この日が最後。

全てが終わる日。

僕、彼女、彼、少女は共に出掛けていた。

この日は、空が灰色だった。

事は、いつも突然。

少女は意図して悲劇を起こした。

それを知ったのは、終わってから、数日後の事だった。

彼は人に心を開かなくなり、僕はますます心がぐちゃぐちゃになった。

少女の優しい復讐。

それは見事成功した。

彼という存在を巻き込んで。

すれ違い。

それは、もう無い。

すれ違う事すら出来ないのだから。

命。

なぜ人はこんなに命に執着するのか。
人。

なぜ人はこんなにお互いに依存するのか。

それが分かったら人は人で無くなる。

それでも僕は知りたかった。

神様：いるならどうか僕を救って下さい。

人で無くなってもいいんです。

教えて下さい。

僕は答えを知るまで悪行を続ける。

それが彼女に対しての償い。

それが少女に対してのささやかな反抗。

僕の心は、赤色だった。

部屋は冷たかった。

空は灰色だった。

ある曇りの日。

季節は冬。

決意はまだ続いている。

僕はこのまま救われる事なく、幻想に生きていく。

冷たくて色の無い幻想の中で。

(後書き)

この文の集合体で伝えたかった事が分かればあなたは、勝者。分か
りますか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8976d/>

優しい復讐

2010年11月4日02時17分発行